



JASDAQ

平成24年7月13日

各 位

会 社 名 株式会社サンセイランディック
代 表 者 名 代表取締役社長 松 崎 隆 司
(コード番号：3277)
問 合 せ 先 専務取締役 松 浦 正 二
(TEL. 03-3295-2200)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成24年2月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成24年12月期 連結業績予想の修正等

(1) 第2四半期(累計)(平成24年1月1日～平成24年6月30日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回予想(A)	4,317	2	△50	△34	円 銭 △4.93
今回修正(B)	2,877	△165	△192	△118	△17.10
増減額(B-A)	△1,440	△167	△142	△84	—
増 減 率	△33.4%	—	—	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成23年12月期第2四半期)	3,149	380	448	283	2,360.51 (47.21)

(注) 平成23年8月31日付で、普通株式1株につき50株の株式分割を行っております。そこで、当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の数値を()内に記載しております。

(2) 修正理由

平成24年12月期第2四半期における不動産販売事業に関する業績予想については、仕入済み・仕入予定物件の販売で3,083百万円、期中仕入物件の販売で456百万円、地代収入等で107百万円の合計3,648百万円の売上を見通しておりました。しかし、仕入済み物件の販売の遅れによる期ずれ等により売上高が878百万円の減少、仕入先都合による仕入予定物件の物件化中止により売上高が193百万円の減少、仕入部門と販売部門を分離する組織変更の影響による体制整備の遅れに伴う期中仕入物件の仕入不足により売上高が129百万円減少したことにより、不動産販売事業において売上高が1,241百万円、営業利益が93百万円減少する見通しとなりました。

また、建築事業において、大型の物件に関して地盤改良工事や仕様変更が必要となった影響により、平成24年12月期第2四半期における工事の進捗率が想定を下回ったため、売上高で191百万円、営業利益で58百万円想定を下回る見通しとなりました。

以上によりまして、平成24年12月期第2四半期の業績予想を上記の通り修正いたします。

(3) 通期 (平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想 (A)	10,852	800	704	394	円 銭 57.10
今回修正 (B)	9,439	420	317	189	27.39
増減額 (B-A)	△ 1,413	△ 380	△ 387	△ 205	—
増減率	△ 13.0%	△ 47.5%	△ 55.0%	△ 52.0%	—
(ご参考) 前期実績 (平成23年12月期)	8,042	749	746	444	73.50

(4) 修正理由

平成24年12月期における不動産販売事業の業績予想につきましては、平成24年12月期中に仕入を行う物件による売上高が過半を占める想定としておりました。一方、1.(2)に記載の通り、今期の期初において仕入部門と販売部門を分離する大幅な組織変更を実施いたしました。この組織変更に伴う新体制における効率的な営業体制の構築に想像以上に時間を要したため、平成24年12月期第2四半期中における今期売上計上予定物件の仕入が想定を下回ることとなりました。

以上によりまして、平成24年12月期通期の業績予想を上記の通り修正いたします。

2. 平成24年12月期 個別業績予想の修正等

(1) 第2四半期 (累計) (平成24年1月1日～平成24年6月30日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回予想 (A)	3,648	△ 14	△ 8	円 銭 △ 1.16
今回修正 (B)	2,427	△ 103	△ 55	△ 7.97
増減額 (B-A)	△ 1,221	△ 89	△ 47	—
増減率	△ 33.5%	—	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成23年12月期第2四半期)	2,875	555	347	2,893.48 (57.87)

(注) 平成23年8月31日付で、普通株式1株につき50株の株式分割を行っております。そこで、当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の数値を()内に記載しております。

(2) 修正理由

1.(2)に記載の通りの理由により、不動産販売事業において売上高で1,241百万円、営業利益で93百万円想定を下回る見通しとなりました。

以上によりまして、平成24年12月期第2四半期の業績予想を上記の通り修正いたします。

(3) 通期 (平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想 (A)	9,341	695	392	円 銭 56.81
今回修正 (B)	7,989	300	187	27.10
増減額 (B-A)	△ 1,352	△ 395	△ 205	—
増減率	△ 14.5%	△ 56.8%	△ 52.3%	—
(ご参考) 前期実績 (平成23年12月期)	6,886	778	464	76.81

(4) 修正理由

平成24年12月期における業績予想につきましては、平成24年12月期中に仕入を行う物件による売上高が過半を占める想定でしたが、1.(2)に記載の通り、仕入部門と販売部門を分離する大幅な組織変更に伴う新体制における効率的な営業体制の構築に想像以上に時間を要したため、平成24年12月期第2四半期中における今期売上計上予定物件の仕入が想定を下回ることとなりました。

以上によりまして、平成24年12月期通期の業績予想を上記の通り修正いたします。

以 上